

一、労資ノ公兇

十号  
各団員  
之出席ス

衆業職一、本月十四日危崎市築地本町ニ半日會本館  
ヲ設置シテ午頃職ニ代表者等ハ会社ニ急津工場主  
ヲ訪問シテ、取書ヲ提出セントシタルニ拒絶セリ午後三時  
頃再ヒ會シテ申込ミタルモ亦又拒絶ニ遭ヒタルヲ以テ工  
場主ノ態度ハ憤慨シ愈々持久戦ニ移ルコトニ協定シテリ  
然レ翌十九日午前十時頃ニ至リ急津工場主ハ特使ヲ  
以テ爭議團ヲ訪問シ「作業時間一向ヲ短縮シ更ニ請  
負制度ノ一限リ割ノ賃率引上ッ為ス」旨申込ミタ  
ルカ半日會團員等ハ益々結束ヲ固メ初先ツ貫徹スヘク  
敦團到底應ルモ模様ナカリト謂フ

十号  
任官若何妥協  
事ノ理不ス

二、紅彈頑説會状況

超ヘテ十六日午後六時半頃ニラ爭議團主催危崎町

紅彈法廷會

會後接ノ下ニ危崎市立圖書館ニ於テ危崎製釘所  
紅彈頑説會ヲ開催シタルカ會同者約三百名ニテ聲  
頭司會者竹田喜一ハ本爭議ノ經過ヲ述ヘ勞資衝突  
正當ナルヤ市民ノ公正ナル批判ノ仰カン為本頑説會  
開催セルヲ以テ同會ノ弊ヲ述ヘ次テ危崎聯合會執行  
委員長藤岡文六外十六名交互起リ現在資本主  
裁制度ノ不合理ヲ痛撃シ殊ニ目下繫争ニツキ  
危崎製釘所主奥津要ニ即チ如キハ口ニ家族主義  
トカ人類愛トカ唱ヘ下ラ内心夜叉ノ如ク吾々勞働者  
ヲ欺瞞シ或ハ压迫ヲ加フル等在ラレ横暴ヲ逞クシ帝  
血ヲ搾取セシ如斯資本家ニ対シテハ團結ノ威力ヲ以テ  
脅懾セサルヘカラスト執レ之為津工場主ノ戒意ヲ難詰  
シ團結ノ必要ヲ力説シタルカ衆士中飯島森夫ハ論旨